

事業名	家畜衛生対策事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
		実施期間	S25 ~	E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進				

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	国際化の進展により、特定家畜伝染病が海外から侵入するリスクが高まっている。				令和元年度 補正後額	106,009 千円										
					職員数	51.00 人										
目指す姿	家畜伝染病の発生予防及び危機管理体制の強化並びに畜産物の安全性の確保推進等により、安全な畜産物の安定供給を図る。  (主な実施内容:防疫演習、監視伝染病等の検査・摘発、農場HACCP取得支援など)															
事業 コスト	区分(単位:千円)	29年度	30年度	元補正後	指標及びその達成状況											
	予算額	前年度繰越	0	0	10,000	No	成果指標	29年度末	30年度末 (見込)	令和元年度						
		当初予算	104,798	82,529	84,009					目標値	成果	達成状況				
		補正予算	0	0	12,000					1	鳥インフルエンザモニタリング検査数	対象鶏について 100%実施	対象鶏について 100%実施	対象鶏について 100%実施		
		合計(A)	104,798	82,529	106,009											
	Aの 財源	一般財源	46,426	29,391	47,995	2	防疫演習の実施	3回	1回	1回						
		県債	0	0	0											
		国庫支出金	27,957	26,434	31,864											
		その他	30,415	26,704	26,150											
	決算額(B)	93,469			3	牛海綿状脳症検査数	対象牛について 100%実施	対象牛について 100%実施	対象牛について 100%実施							
概算 人員 費	職員数(人)	50.00	50.00	51.00												
概算 人員 費	概算人件費(C)	405,100	405,100	419,118												
概算 事業費 (B(A)+C)		498,569	487,629	525,127												
成果指標 設定理由	① 家畜伝染病予防法に基づき、鳥インフルエンザの浸潤状況を把握するため、検査を実施する。 ② 家畜伝染病予防法に基づき、発生時の迅速かつ的確な対応を実施するため、防疫演習を実施する。 ③ 牛海綿状脳症対策特別措置法に基づき、検査対象牛を確実に検査を実施する。															

補正により取り組む 事業内容	県内で発生した特定家畜伝染病(豚コレラ)に関する移動制限等により経済的な損失が生じた関連施設に対し損失相当額を助成する。 ①家畜伝染病予防法に基づく家畜等の移動制限に伴う損失及び種豚の出荷キャンセルに伴う損失に対する助成 ②松本市のと畜場営業自粛に伴う農家等の損失に対する助成 ③松本市のと畜場営業自粛による枝肉等の畜産物廃棄に伴う損失に対する助成
-------------------	---

2 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	細事業名	令和元年度 実施内容(予定)	職員数 (人)	令和元年度		
				(補正前)	(6月補正)	(補正後)
1	家畜保健衛生所運営費	家畜保健衛生所の運営	6.50	27,115	0	27,115
2	家畜伝染病予防事業	監視伝染病の検査、農場巡回指導	23.00	23,153	0	23,153
3	家畜衛生対策事業	防疫演習の実施、畜産農家データベースの更新、慢性疾病等の調査	18.00	26,565	0	26,565
4	BSE監視検査事業	96か月齢以上の死亡牛全頭と48か月齢以上の起立不能等特定症状のある死亡牛のBSE検査	2.50	7,176	0	7,176
5	豚コレラ関連農場等支援事業	豚コレラ発生に伴い経済的な損失が生じた関連施設に対する損失相当額の助成	1.00	0	12,000	12,000
合計			51.00	84,009	12,000	96,009

